

男女共同参画ってなあに？ Part 12

男女共同参画社会とは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことをいいます。



男女共同参画に関する市民意識調査結果について

姫路市では、令和3年2月に男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。

この調査は、平成25年3月に策定した「姫路市男女共同参画プラン2022」の計画期間が令和4年度末で終了するため、新たなプランの策定にあたり、男女共同参画社会に関する市民のみなさんの意識や意向、ニーズを的確に把握し、今後の施策展開の参考とするために実施したものです。結果について一部を紹介します。

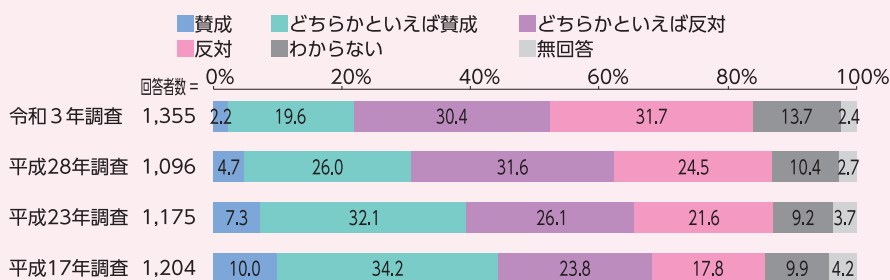
結婚、家庭に関する考えについて

過去の調査と比較して、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに「反対」「どちらかといえば反対」とする人の割合が、はじめて6割を超えました。

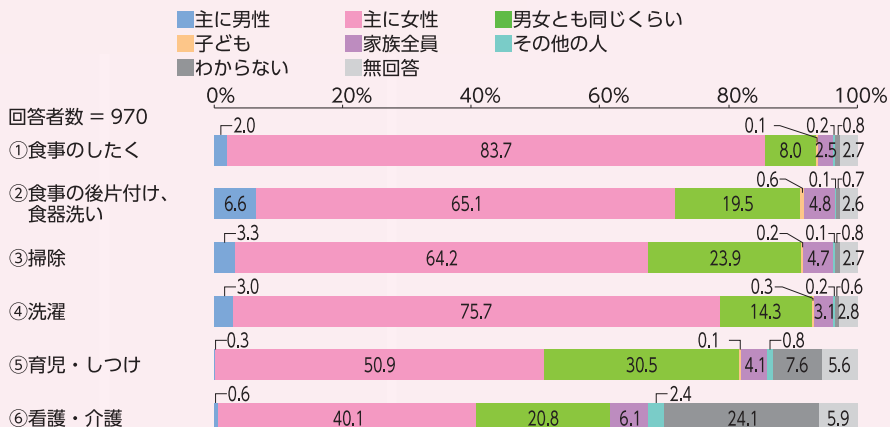
その一方で、既婚（事実婚含む）の家庭において、家庭内での仕事のすべてで「女性」が担っている割合が最も高く、女性の負担が大きくなっている結果となりました。

その背景として、固定的な性別役割分担意識が挙げられますが、家事・育児・介護など家庭の仕事は、家族が共同で行うという意識をもって、これまでの社会通念や慣行を見直すことが必要です。

○固定的な性別役割分担意識 （「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方）



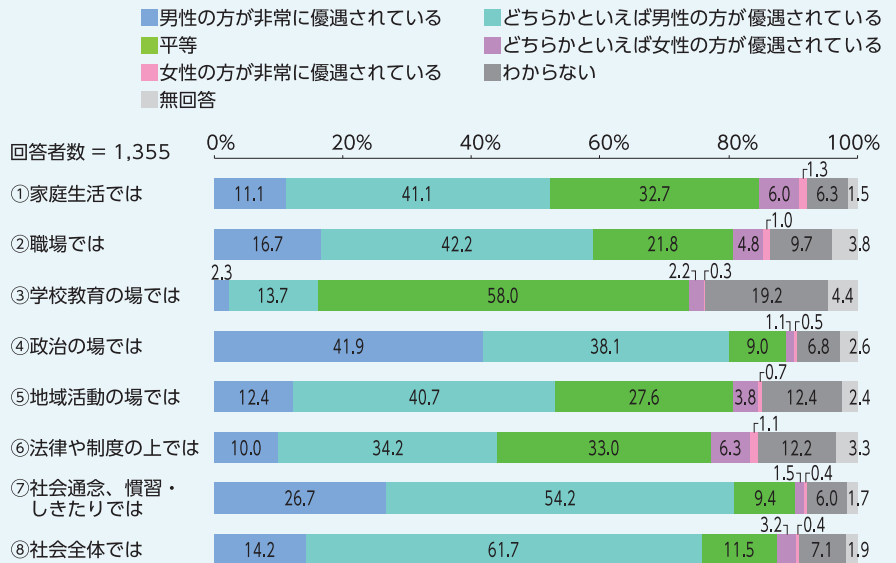
○家庭内の仕事の分担



各分野での男女の地位について

今の社会での男女の地位について、「学校教育の場」以外のすべての分野で『男性優遇』だと思ふ人の割合が『女性優遇』の割合を上回っており、特に「社会通念、慣習・しきたり」、「政治の場」、「社会全体」で、『男性優遇』だと思ふ人の割合が高くなっています。固定的な性別役割分担意識が根強く残っている背景から、各分野での男女の地位における平等感にも影響が見られる結果となっています。

○各分野での男女の地位



今回の市民意識調査では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれない人が増えてきた一方で、各分野における男女の地位や家庭内での役割分担での男女差が見られる結果となっています。「男だから、女だから」という理由で、生き方や人生の選択が制限され、個性や能力を発揮する機会が奪われてしまうことのない社会づくりが必要です。

新たな男女共同参画プラン策定に向けたアンケートを実施します

市民意識調査の結果等を踏まえ、新たなプランの策定に当たって、姫路市男女共同参画審議会からの答申を受けました。今後、答申に基づいてプランの策定を進める中で参考とさせていただくため、姫路市における課題やその解決方法などについて、みなさまからのご意見を募集します。ぜひご協力をお願いします。

【締め切り】

令和4年5月31日（火）

【回答方法】

パソコン、スマートフォンからご回答ください。
以下のアドレス又はQRコードからアクセスしてください。
<https://www.city.himeji.lg.jp/bousai/0000020198.html>

※ご回答いただいた内容については、調査の目的以外には使用いたしません。



“あいめっせ”でお待ちしています。どなたでも、ぜひお越しください

男女共同参画について、よくわからない、また疑問に思った方は、“あいめっせ”と一緒に学んでみませんか。“あいめっせ”では、男女共同参画社会について学ぶための講座の開催や、男女共同参画についての図書の貸し出しをしています。

発行／姫路市男女共同参画推進課 発行日／令和4年（2022年）3月
〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階
姫路市男女共同参画推進センター “あいめっせ”
TEL：079-287-0803 FAX：079-287-0805

ホームページ：
男女共同参画推進課 https://www.city.himeji.lg.jp/soshiki/4-1-2-0-0_1.html
あいめっせ <https://www.city.himeji.lg.jp/i-messae/>

姫路市男女共同参画推進センター
Himeji City Gender Equality Promotion Center

